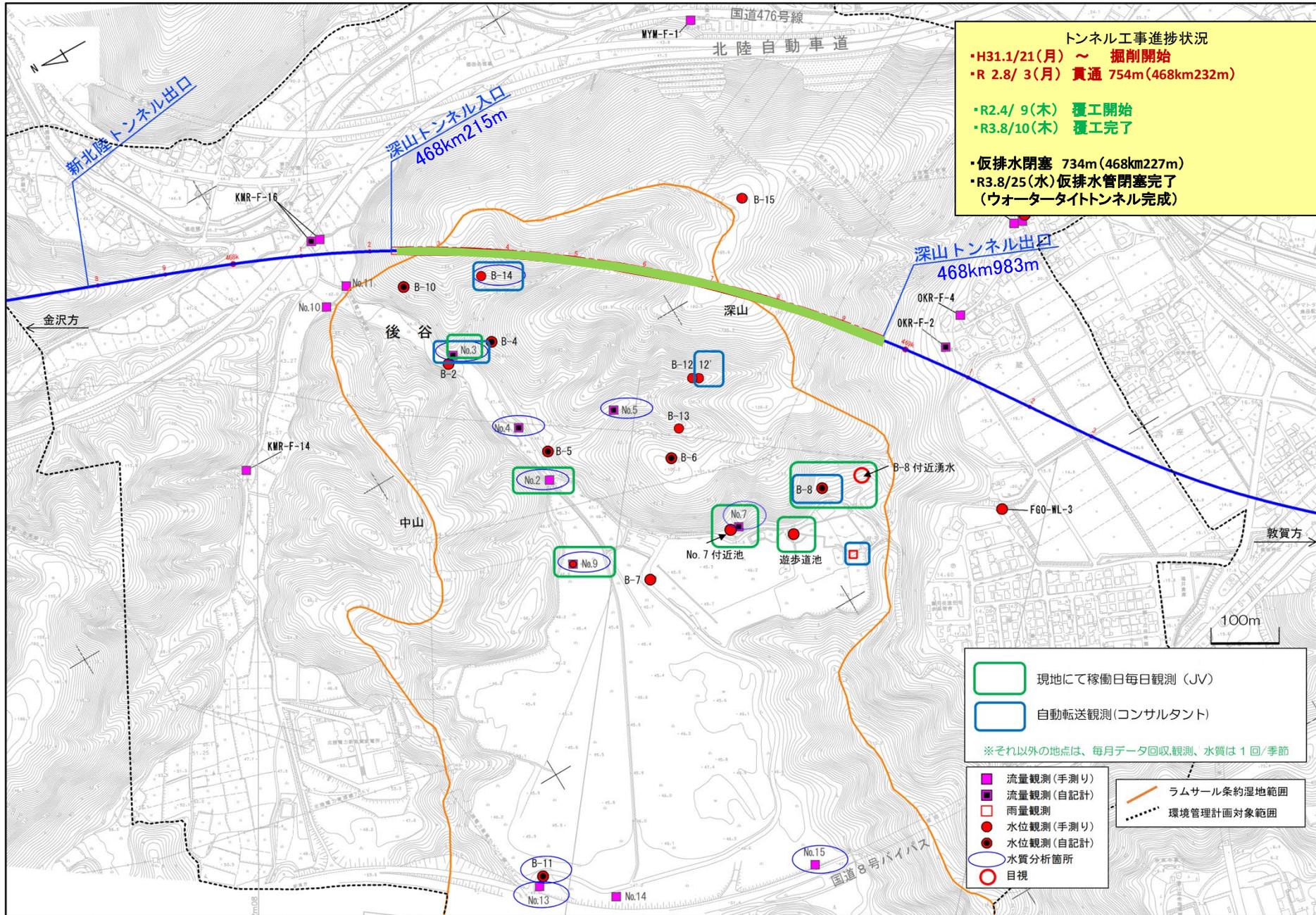


# 深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間: 令和3年10月1日(金)～令和3年10月31日(日)

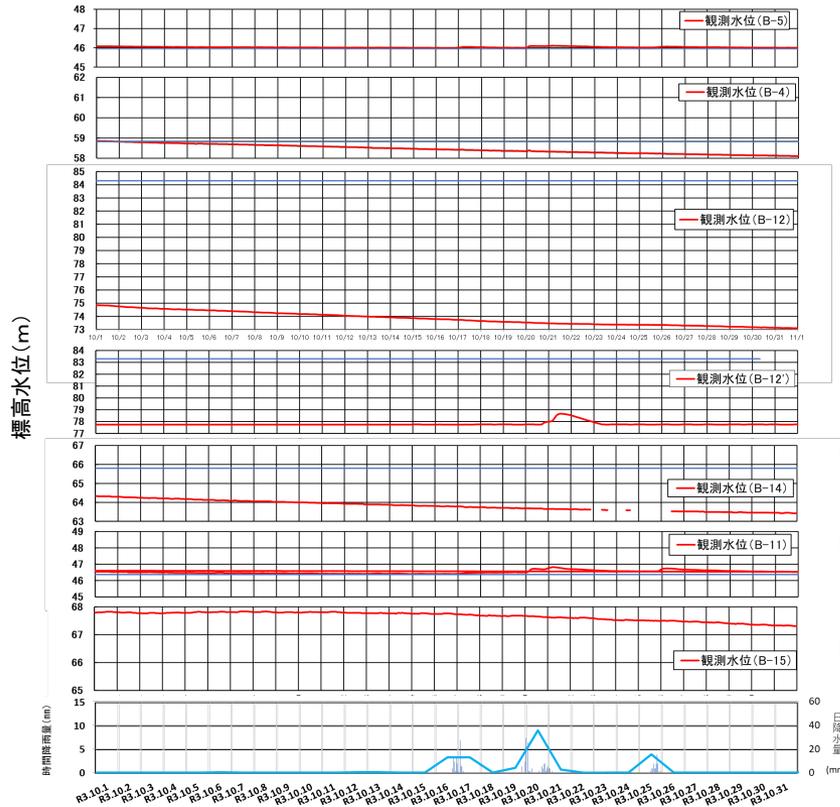
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



B-5 地下水位  
過年度最低水位  
46.0m

B-4 地下水位  
過年度最低水位  
58.8m

B-12 地下水位  
過年度最低水位  
84.3m

B-12' 地下水位  
過年度最低水位  
83.3m

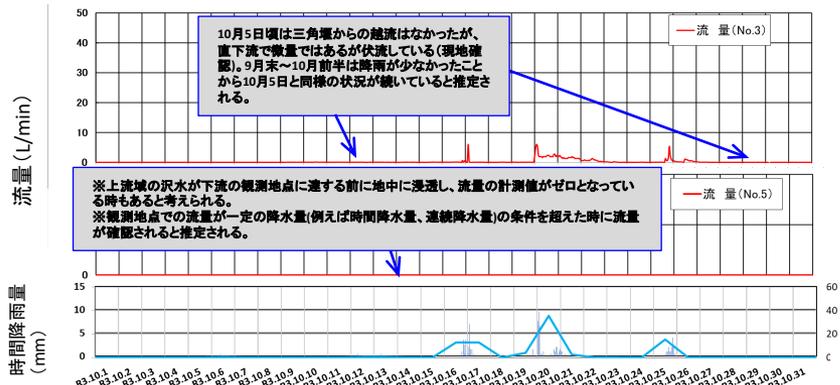
B-14 地下水位  
過年度最低水位  
65.8m

B-11 地下水位  
過年度最低水位  
46.36m

B-15 地下水位

雨量

流量観測結果図(自記記録)



No. 3 流量

No. 5 流量

雨量

## 全体総括

- 目立った変動なし ■やや変動あり
- 変動あり(注意体制への移行を検討)
- 期間中の地下水位低下量
  - 1m未満ないし増加:下記以外すべて
  - 2m未満 ■5m未満: B-12 □5m以上
- 期間中の流量低下量
  - 50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
- 期間中のpH変動量
  - 0.5未満: B-8, B-12 □0.5以上 □1以上
- 日降水量
  - 15mm未満 ■15mm以上(2日) □50mm以上
- 月降水量
  - 80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

## 概要

### ■水位変動について

- ①やや変動あり。
- ②B-4(自記水位計): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して、緩やかな低下傾向を示し過年度最低水位を下回る。
- ③B-5(自記水位計): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して標高46.1~46.2m付近で過年度最低水位をわずかに上回る。
- ④B-12(自記水位計): 水位は期間を通して緩やかな低下傾向である。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
- ⑤B-12'(自動転送): 水位は10/20の降水に反応を示し、一時的に水位が上昇するがその後すぐに水位は低下する。上記以外の期間を通してみかけ一定である(地下水位は孔底より下と推定)。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
- ⑥B-14(自動転送): 水位は期間を通して緩やかな低下傾向を示す。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
- ⑦B-15(自記水位計): 期間中の降雨に明瞭な反応を示さず、通して緩やかな低下傾向を示す。
- ⑧No.3(自動転送): 10月5日頃は三角堰からの越流はなかったが直下流で微量ではあるが伏流している(現地確認)。9月末～期間中は降雨が少なかったことからこのような状態が続いていたと推定される。期間後半の降雨には明瞭な反応を示し、三角堰からの越流が確認されている。
- ⑨No.5(自記): 期間内は流量0となる。

⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。  
⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

### ■降水量について

- ①10月の日最大降水量: 10/20の35.5mmである。
- ⇒9月の日最大降水量: 9/2の34.5mmであった。
- ②10月の月降水量: 85.0mmである。
- ⇒9月の月降水量: 132.0mmであった。